

21 チェーンソー技術マニュアル ～伐倒編～

長野県林業大学校 2学年 ○高橋 幸司
○溝口 翔太
○三室 晃人

1. 課題を取り上げた背景

長野林大チェーンソー技術マニュアル制作チームでは、我が校オリジナルの技術マニュアルを作成することを最終目標に、その研究過程を通じて、正確なチェーンソーワークと安全動作の習得を目的として、研究を行っています。

私たち40期生マニュアル制作チームは、マニュアルの伐倒作業編を作成しました。

2. 取組の経過

私たちはマニュアルを作成するためにハスクバーナによるトップガン講習や*JLC・WLCルールを参考に伐倒練習機を用いた実験を行いました。そのときの様子を撮影し、撮った写真を使って、初心者でもわかりやすいようにしました。



写真1 伐倒実験の様子

また、労働安全衛生規則の内容に沿いながら欧州の幾つかの国の技術マニュアルやWLCの技術ルールを同時に勉強し、受け口角度や伐倒技術など比較実験し、その結果をマニュアルに反映させることを試みました。なお、マニュアル作成のために行った伐倒実験などの実施に当たっては、伐倒練習機を用いて安全を確保しました。

*JLC (日本伐木チャンピオンシップ)、WLC (世界伐木チャンピオンシップ)

3. 実行結果

実験結果を反映させた以下項目の伐倒作業編の原形が作成できました。

- ① 安全装備
 - ・全般
 - ・服装 等
- ② 機械の整備
 - ・メンテナンス
 - ・燃料の調整 等
- ③ 伐倒作業
 - ・安全確認
 - ・伐倒作業(受け口、追い口等)
 - ・退避 等

◆ 伐倒作業の受け口角度や追いつる切りなどについての実験の考察をコラム欄に記載しています。

4. 考察

受け口角度など比較実験することで「なぜそうなのか」を安全性の観点からより分かりやすくマニュアルに示せることが判りました。

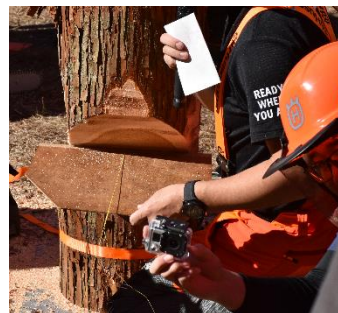


写真2 受け口角度の比較



写真3 実験後の考察の様子

そして、今後はマニュアルを全国の林業大学校の学生が参考としていただけるような内容となるような構成を工夫し文章を推敲していきたいと考えています。